

県内景況情報

7月期

製造業

〈食料品〉

〔パン製造業〕

売上げは前年比ほぼ同位。

しかし、酷暑が続けばどうなるかは明確。

〔その他食料品製造業〕

酪農家の減少による原料乳不足が喫緊の課題である。消費伸び悩みが続く中、販売価格の値下げが懸念される。

〈木材・木製品〉

〔木材製造業〕

売上高は昨年比100%とキープできている状況だが、油断は出来ない。

〔木材製造業〕

変わらず厳しい状況が続いている。

〔木材製造業〕

組合事業としての「胴割り」「鋸目立」共に大幅に前年を下回った。

〈鉄鋼・金属〉

〔鋳物・鋳鉄業〕

操業率は80%程度と、推移は変わらず、ほぼ中国のみで製造されているフラン樹脂が鋳造鋳型の結合材として使われるが、国の政策として環境問題からメーカーが半減、出荷量が半分、価格も高騰し、7月分より値上げの申請が来ている。

〈一般機械〉

〔一般機械器具製造業〕

組合員間のバラツキがあるも受注増加から設備稼働率は改善している。電気使用量前年同月比109.3%（前々年同月比103.6%）

〈電機機器〉

〔電気機械器具製造業〕

7月度売上高は、先月と同水準。（前年同月比でも同様）。産業用ロボット関連は、依然国内外共好調に推移しており、来月度以降の増産を期待している。

〔電気機械器具製造業〕

7月になりボーナス後、若者の退社・転職が出ている。福岡などの大都市への流出が多い。

非製造業

〈卸売業〉

〔茶卸売業〕

中元商戦についても減少気味であるが大きくは前年とあまり変化はない。当組合においては、弱小組合員の退会が続いており、中核の組合員については業況に大きな変化は見られない。

〈小売業〉

〔食肉小売業〕

先月より引き続き、豚肉の相場価格急騰により、粗利の低下。

〈商店街〉

〔北九州市〕

空き店舗が少しずつ増加している。駅前商店街は飲食店が増えているため空き店舗は低下しているが、屋の店舗の減少に歯止めがかからない。当組合は少し駅前から（400mほど）離れているため夜の店の増加もあまりない。

〈サービス業〉

〔宿泊業〕

此の度の九州北部豪雨災害を受け、朝倉市（朝倉地区、杷木地区）及び東峰村が甚大な被害を受けた。風評・出控えによるキャンセル・予約の不調がある。

〔クリーニング業〕

組合員の減少。オフシーズンに入り、売上げの減少となっている。集客力の低下等々。

〈建設業〉

〔建築工事業〕

7月上旬に発生した平成29年九州北部豪雨により被災した朝倉市、東峰村に対し北九州市上下水道局の要請により応急給水活動・応急復旧活動で組合員21社、50名を派遣した。

〈運送業〉

〔一般貨物自動車運送業〕

人手不足を理由に価格、労働時間等、荷主との交渉が始まろうとしている。若手ドライバー不足は深刻化している。

福岡県の業種別D・I値の変化

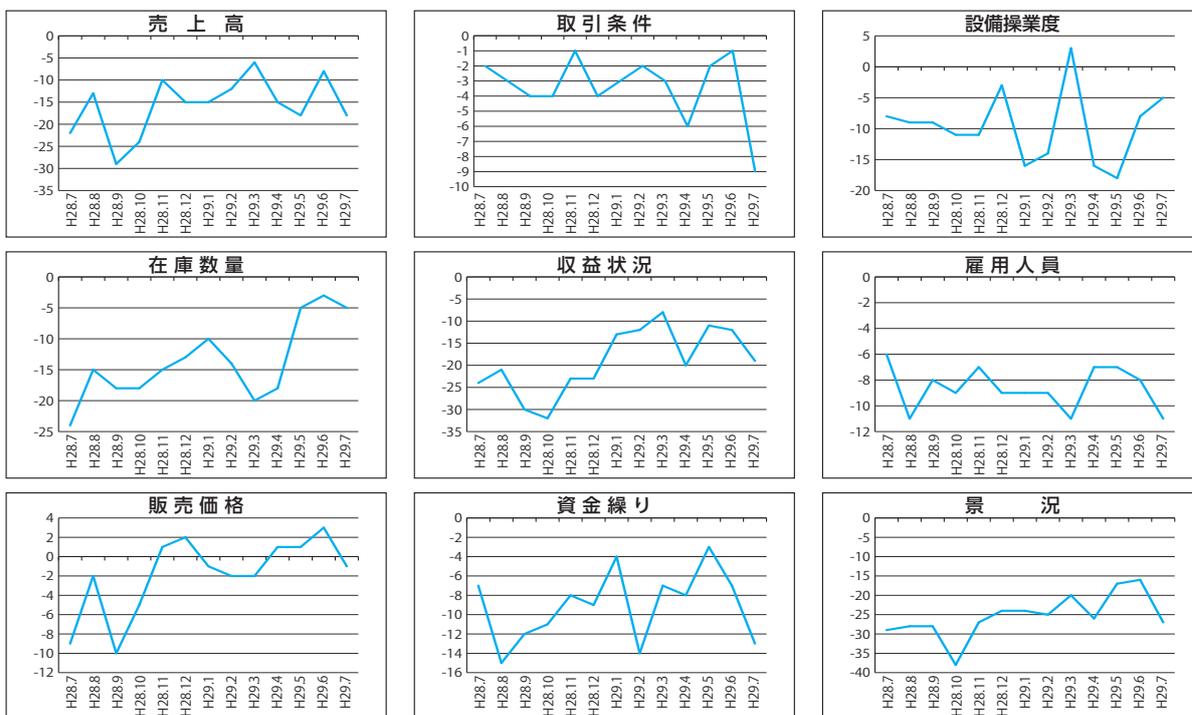
(福岡県中小企業団体中央会調査)

業種	項目	前年同月比								
		売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	景況
製造業	食料品	↓	→	→	→	↓	→	→	→	↓
	繊維・同製品	↓	→	→	→	↓	→	→	↓	→
	木材・木製品	↓	→	→	→	↓	↓	→	→	↓
	印刷	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	窯業・土石製品	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	鉄鋼・金属	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	一般機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
	電気機器	→	→	→	→	→	→	→	→	→
非製造業	卸売業	→	↓	→	→	→	→	—	→	→
	小売業	↓	→	→	→	→	→	—	→	↓
	商店街	→	→	→	→	→	→	—	→	↓
	サービス業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	建設業	→	—	→	→	→	→	—	→	→
	運輸業	→	—	→	→	→	→	—	↓	→
D・I		-18	-5	-1	-9	-19	-13	-5	-11	-27

↑ 増加・上昇・好転 → 不変 ↓ 減少・下落・悪化

D・Iとは・・・Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス) の略で、企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの判断を指数化したものである。

●前月比D・Iの動きをみると、9項目中8項目が下降した。



全国中小企業団体中央会では、ホームページ上で月次景況調査(情報連絡員全国集計)を公開しておりますので、ぜひご覧下さい。

全国中小企業団体中央会ホームページ <http://www.chuokai.or.jp/>